

学校とジオパークの連携

次の世代を担う子どもたちに、自分たちが暮らしているまちのことを知ってもらいたいと、ジオパーク推進協議会では4つの市町にある小・中・高校と連携を進めています。

現在の学校では、どのような授業が行われているのでしょうか？例えば小学校では、火山の噴火について、映像や災害遺構散策路を歩いて学びます。中学校では、避難活動や避難所運営について考えたり、大人にインタビューを行ったりして火山や地域の特徴、そして産業とのつながりを学びます。集めた情報をまとめて発表する機会も多いようです。

さらに高校になると、「地域の魅力を観光に活かすプログラム」や「森の成長（植物の種類の変化）」など、学習内容がより専門的になります。

実物を見たり触れたりでき、さらにそれを案内・解説できるガイドや講師がいるということが、ジオパークが学校での学習にも役立つ大きな理由です。

授業をきっかけに、生徒の皆さんが自分たちの暮らすまちについてもっと知りたい、もっと伝えたい！と思ってくれるよう、これからもジオパークでは講師の派遣や教材の提供など、学校と連携した取り組みを進めていきたいと考えています。



虻田高校での授業（5月）では、有珠山の噴火の歴史やジオパークの活動についてお話をしました。

抽選で当たる!!

洞爺湖町 オリジナルエコバッグで「大地の物語」をPR!

洞爺湖周辺の実り豊かな大地をもっと宣伝したい！という思いから生まれた、洞爺湖町オリジナルエコバッグ「大地のポケット」（3種類のいずれか1枚）を**抽選で6名**にプレゼントします。ぜひ、このバッグを持ち歩いて「世界ジオパークの町」の宣伝にご協力ください！

ご希望の人は、はがきかファクス、もしくはEメールで、下記内容をご記入のうえご応募ください。7月分の締切は7月23日（月）の消印まで有効です。当選は発送をもってかえさせていただきます。

※一度当選された人は対象となりませんのでご注意ください。



バッグの図柄は絵本『11万年のうえの一日』から「小幌海岸」「リンゴ畑」「洞爺湖温泉」の3種類。 ※図柄の指定はできません

1. 応募者の名前
2. 連絡先電話番号
3. 届け先の住所（洞爺湖町内に限ります）
4. ジオクイズの答え

<ジオクイズ>

高校の授業例「森の○○（植物の種類の変化）」の○○に当てはまる漢字はなんでしょう？

※答えはこのジオパーク通信内にあります。よ〜く読んで答えてね。

～ 応募先 ～ 〒 049-5692

洞爺湖町栄町 58 番地 洞爺湖町役場ジオパーク推進課

※ファクスは Fax 76-4727 まで

※Eメールは info@toya-usu-geopark.org まで